

令和3年3月31日

菊池市の学校給食を考える会

代表 中里 千恵 様

公開質問状に対する回答

日ごろより、菊池市行政及び教育行政に対し、ご意見ご助言を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2021年3月26日付けの貴公開質問状の内容に対して、以下の通り回答申し上げます。

1. 米飯給食の質について

菊池の農産物につきましては、健康や環境に配慮した「菊池基準」を設け、他の農産品との差別化を図って参りました。こうした本市独自の取組に関心が寄せられ、農業分野のみならず観光分野や移住促進政策との相乗効果も高まってきたところです。本市の大事な宝である子どもたちの給食にもこうした健康・環境に良い食材を使ってほしいと強く願っており、菊池市中小企業振興基本条例に基づき、地元業者の協力のもと「菊池基準」農産物などの地産地消に努めているところです。

一方、給食用食材並びに給食費については、保護者代表等で組織する給食センター運営委員会で納入基準書に照らしながら決定して頂いているところです。特に、コロナ禍等により給食費の支払いも厳しい家庭もありますので、食材の見直しや給食費の負担については、多種多様なご意見があるところです。

本市としては、給食食材の安全・安心にかかわる質の向上に関しては、引き続き保護者の皆様のご理解を得るよう努力してまいります。

2. パン食と米飯給食の見直しについて

国産小麦粉への切り替えについては、県学校給食会にも尋ねていますが、安定供給の問題や価格面・製造面など考慮しないと一概には言えないとのことであり、結論を見ておりません。

米飯給食の増については、児童生徒や保護者の意見を踏まえ給食センター運営委員会で議論いただくこととなりますが、強い要望があれば本市としては前向きに検討していきたいと思っております。

3. 食育の推進について

食育の重要性については私も同感です。食育を通じて、食と健康のかかわり、自然の恵みを大切にすする心、生産者への感謝の気持ち、郷土愛など、様々な学びにつながるものと思っております。

地域の皆様のご協力を得ながら、可能な範囲でさらに充実させていきたいと思っております。

4. 「給食だより」について

「給食だより」は年 2 回、各センターの栄養士が作成しています。内容の更なる充実が図れるよう、指導してまいります。

5. ゲノム編集食品について

ゲノム編集食品については、安全性審査などによりその安全性が確認されたものだけが流通することになっています。ゲノム編集作物の近縁種との交雑のご懸念につきましては、あくまで可能性の話であり、現段階での回答は控えさせていただきます。

以上、回答とさせていただきます。

菊池市長

江頭 実